

荒廃した里山・平地林の整備

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
2	前橋ー里山ーH28-2	H26	前橋市	里山・平地林	管理／森林		富士見町漆窪自治会里山管理事業	富士見町漆窪自治会	市がH24年度に整備し、その後地元で継続管理している箇所での下草刈り	4,031	4,000	11	12	7	7	7	8	8	26	
		H27	前橋市	里山・平地林	管理／竹林	継続	富士見町漆窪自治会里山管理事業	富士見町漆窪自治会	地域住民による安全・安心な生活環境づくりを目的とした竹林の管理活動	8,836	4,000	12	B			B		B	B	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて管理状態にしておくためには、数回の活動が必要となるが、全て対応できないので個人の活動を行った。 根気よく必要性を説き、個人での活動も進めたところ、理解者も増え、年間を通じ維持管理できている。 地域の住民が自発的に取り組むようになった。 最近の活動においては、仮に補助等が無くても自分たちで継続していきたいとの気運が高まっている。 																	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化推進委員であったことから取組こととしたが、地元住民の理解を得ることが課題であった。 管理場所が竹林のため、枯れた竹や倒れた竹を伐採したが、その処理に費用がかかるため困っている。 自宅や森林への手入れができないのが現状であり、道路にはみ出て問題となっている場所がある。これらを改善するためには、理解し活動できる人材をどうやって育成するのがポイントとなる。 前橋市が独自で行っている竹木粉碎機貸し出し事業について説明し、事業導入の検討を促している。 																	
B判定の理由		取組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域の模範となるためには、今以上に人材育成や竹の処理等の課題をクリアしなければならないため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
7	太田ー里山ーH28-1	H26	太田市	里山・平地林	困難地整備支援／竹林		市町村提案型事業	太田市	野生鳥獣対策を目的とした市が実施する放置竹林整備	5,540,400	1,674,000	12	12	6	6	6	9	9	27	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> イノシシの潜伏場所が無くなったことで、近隣の西岡町の農業被害が減少した。 																	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たに発生してくる竹を伐採するタイミングが不明。 群馬県林業試験場と協力し、部分的に農薬使用や高伐りなどを行ったが、どのような成果が得られるか不明瞭。 																	
B判定の理由		取組みについては、概ね評価できる内容であったが、竹林については、まだ整備する箇所も多くあり、部分的に評価するのが難しく、また、高齢化により地域での継続的な管理が難しくなっているため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
8	沼田ー里山ーH28-1	H26	沼田市	里山・平地林	困難地整備支援／竹林		追貝地区竹林整備	沼田市	野生鳥獣対策等を目的とした市が実施する竹林整備	2,745,000	2,745,000	12	12	6	6	6	7	8	25	
		H26	沼田市	里山・平地林	困難地整備支援／森林		追貝地区森林整備	沼田市	野生鳥獣対策等を目的とした市が実施する森林整備	1,963,000	1,963,000	11	B			B		B	B	
		成果	-																	
		課題	-																	
B判定の理由		取組みについては、概ね評価できる内容であったが、竹林については、まだ整備する箇所も多くあり、部分的に評価するのが難しいこと、また、管理については、人件費が対象となっておらず、管理体制や地域の取組みに課題があるため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
10	安中ー里山ーH28-1	H26	安中市	里山・平地林	困難地整備支援／竹林		安中市竹林整備	安中市	野生鳥獣対策等を目的とした市が実施する竹林整備	288,000	288,000	12	12	6	6	6	9	9	27	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣の滞留が解消され、道路に竹が覆い被ることが無くなった。 																	
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 地区内には同様に放置された竹林が多く存在するため、環境の改善には時間を要する。 地元により定期的に管理されているが、補助金が低額なこと、書類作成に時間を要するために、管理の補助金申請がされていない。 																	
B判定の理由		取組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域住民も高齢化しており、現状では問題ないが、将来の管理の継続が難しくなると思われるため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
11	安中一里山-H28-2	H26	安中市	里山・平地林	整備／竹林、森林		森熊地区竹林整備事業	森熊林道の会	野生鳥獣対策等を目的とした団体が実施する竹林・森林整備	127,294	125,000	12	12	8	6	7	9	10	10	29
		H27	安中市	里山・平地林	管理／森林、竹林	継続	森熊地区竹林整備事業	森熊林道の会	地域による野生鳥獣対策を目的とした里山・竹林の管理	14,910	14,000	12	B			B			B	B
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・当地は共有林で長期間放置されていたが、今回の整備をきっかけに、整備の必要性に気付かされた。 ・夏場の活動に加え、冬期の降雪で倒れた木の処理も行った。 ・活動が継続していくよう、消耗品の支給や、昼食の提供などを行っている。 ・台風や降雪による倒伏が減少し、野生鳥獣の隠れ場所も減らすことができた。 ・事業実施により、全体で行う管理作業時以外にも積極的な作業が行われるようになった。 																		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・収益に繋がらない山林の整備に消極的な者もいるが、道路通行を阻害しない程度の整備は地主の義務として自覚していただきたい。 ・竹の成長が早く、参加者の中から毎年同じ所を整備するのに消極的な声が聞こえる。 ・会員の中には高齢者が存在しているので、息子などへ継承が望まれる。 ・本事業の実施により、参加者の意識向上が望まれる。 																		
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域住民も高齢化しており、現状では問題ないが、将来の管理の継続が難しくなると思われるため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
17	上野一里山-H28-1	H26	上野村	里山・平地林	困難地整備支援／森林		上野村里山景観整備事業	上野村	里山景観美化等を目的とした市が実施する森林整備	1,898,640	1,590,000	12	13	6	8	7	9	9	9	29
		H27	上野村	里山・平地林	管理／森林	継続	上野村里山景観整備事業	塩ノ沢里山の会	地域住民による景観美化を目的とした森林の管理活動	36,226	36,000	13	B			B			B	B
	成果	・地区から多くの人が参加し、事業を実施できた。																		
	課題	・高齢者が多く、事業を継続する上で不安がある。																		
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域住民も高齢化しており、管理の継続が難しくなっているため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
18	上野一里山-H28-2	H26	上野村	里山・平地林	困難地整備支援／森林		上野村里山景観整備事業	上野村	野生鳥獣対策と景観美化を目的とした村が実施する森林整備	247,860	175,000	12	13	6	6	6	9	9	9	28
		H27	上野村	里山・平地林	管理／森林	継続	上野村里山景観整備事業	勝山里山整備の会	地域住民による景観美化を目的とした森林の管理活動	3,000	3,000	14	B			B			B	B
	成果	・参加者が作業道具を持参したため経費が少なく済んだ。																		
	課題	・参加者の日程調整が難航した。																		
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域住民も高齢化しており、管理の継続が難しくなっているため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
23	嬭恋一里山-H28-2	H26	嬭恋村	里山・平地林	困難地整備支援／竹林		三原区竹林整備	嬭恋村	野生鳥獣対策等を目的とした竹林整備	3,564,000	2,700,000	12	12	6	8	7	8	11	10	29
		H27	嬭恋村	里山・平地林	管理／竹林	継続	三原区竹林整備	三原区	地域住民による安全・安心な生活環境づくりを目的とした竹林の管理(獣害対策)	37,312	37,000	12	B			B			B	B
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を達成できる整備となった。 ・竹の生育状況を監視しながら、大きくならないうちに管理をしている。 ・道具は参加者が持ち寄っている。 																		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目的達成のためには補助金だけでは不足した。 ・高齢化が進んでおり、参加者の減少が懸念される。 ・現場の足場が悪く危険。大きな怪我はないが、転倒者は多数発生している。 																		
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域住民も高齢化しており、管理の継続が難しくなっているため。																		

荒廃した里山・平地林の整備(刈払機、粉碎機購入)

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	評価年度	I 実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
													補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
2	沼田-里山-H28-2	H26		沼田市	里山・平地林	粉碎機の購入	竹林等整備促進事業	沼田市	市が粉碎機を購入し本事業に取り組む間接事業者に貸与	998,460	748,000		9	9	7	-	7	10	-	10	26
													9	B	7	-	B	10	-	B	B
		成果	-																		
	課題	-																			
B判定の理由		粉碎器は使用しているが、機械のメンテナンス費用等の課題があるため。																			

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	評価年度	I 実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
													補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
5	安中-里山-H28-8	H26		安中市	里山・平地林	刈払機、粉碎機の購入	粉碎機の購入	安中市	市が粉碎機2台(大型1台、小型1台)を購入し本事業に取り組む間接事業者に貸与	4,504,680	3,372,000		9	9	6	-	6	9	-	9	24
													9	B	6	-	B	9	-	B	B
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・機種の選定 ・貸出件数も増加し、利用した市民から好評を得ている。 																		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の管理の問題 																			
B判定の理由		粉碎器は使用しているが、機械のメンテナンス費用等の課題があるため。																			

貴重な自然環境の保護・保全

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	評価年度	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
													補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
4	館林-自然-H28-1	H26	館林市	自然環境	活動支援		茂林寺沼湿原貴重種保護整備事業	館林市教育委員会 文化振興課	絶滅危惧種Ⅱ類であるノテンツキ等の保護のため、市が実施する茂林寺沼湿原への侵入樹木等の伐採整備	1,490,400	500,000		14	14	6	6	6	8	8	8	28
		H27	館林市	自然環境	活動支援	継続	茂林寺沼湿原貴重種保護整備事業	館林市教育委員会 文化振興課	絶滅危惧種Ⅱ類に指定される「ノテンツキ」や「カキツバタ」等の生育環境の保護・保全を図る【継続】	194,400	194,000		14	A							
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木の繁茂により乾燥化が進んでいたが、今回の整備で湿原の環境保全に役立った。 ・茂林寺沼湿原の豊かな自然環境保全を期待する声も多くあり、今回の事業に取り組んだ。 																		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的に伐採しても、管理を継続しなければ乾燥化が進んでしまうため、管理方法の確率とボランティアなどの養成が必要。 ・地域の協力を得つつ、長い目で湿原保全活動が継続する必要がある。 																				
B判定の理由		取り組みについては、地域の模範となるような内容であったが、地域が主体となった活動となっておらず、また取り組んだ活動が地域にあまり広がっていないため。																			

森林環境教育・普及啓発

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	
9	H26		上野村	教育・普及	森林環境教育		上野村森林・里山体験事業	上野村	県民を対象とした森林・里山内での散策等を通じた森林環境教育	285,955	285,955	9	9	6	6	6	9	9	9	24
													B						B	B
	成果																			
	課題																			
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、継続して実施しているものの、活動内容を工夫しないと参加者が集まらないといった課題があるため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I実績		II-1効果			II-2効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
10	H26		中之条町	教育・普及	森林環境教育		芳ヶ平湿原周辺自然観察会	中之条町	自然豊かな芳ヶ平湿原周辺の自然観察会を通じた森林・自然環境教育	581,600	581,400	9	9	6	6	6	9	9	9	24
													B						B	B
	H27		中之条町	教育・普及	森林環境教育	継続	芳ヶ原湿原周辺自然観察会	中之条町	自然観察を通じた森林環境教育	540,300	540,000	9	B			B			B	B
												成果								
課題																				
B判定の理由		取り組みについては、参加人数も多く概ね評価できる内容であったが、スタッフの人数もぎりぎり年配者のサポートを行うと、スタッフの人数が足りなくなるといった問題があるため。																		

森林の公有林化

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
1	太田一公有-H28-1	H26	太田市	公有林化	平地林の公有林化		(仮称)矢場町地内平地林事業	太田市	湧水を活用した平地林造成のための用地取得	6,898,000	3,449,000	9	9	6	-	6	9	-	9	24
		H27	太田市	公有林化	平地林の公有林化	継続	(仮称)矢場町地内平地林事業	太田市	平地林を造成し、管理することで森林の持つ公益的機能の維持増進を図る	20,235,300	10,000,000	9	B		B	B		B	B	
	成果	・平地林造成に向け、本事業を活用し、事業予定地を購入できた。																		
	課題	・現在は予定地の購入段階であり、今後、造成計画や造成後の管理方法など、地域の利益を優先に考えてゆく。																		
B判定の理由		平地林の造成中であり、全体計画が完了していないため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
2	中之条一公有-H28-1	H26	中之条町	公有林化	水源地域森林の公有 林化		東谷風穴周辺保存利用整備事業	中之条町	国指定史跡の蚕種貯蔵施設(東谷風穴)周辺森林を購入、管理することで森林の持つ公益的機能の維持・向上を図る	1,754,000	877,000	9	9	6	-	6	9	-	9	24
													B		B	B		B	B	
	成果	・土地の購入と共に、東谷風穴を含んだ保存計画を策定し、看板の設置を実施した。																		
	課題																			
B判定の理由		購入した森林を整備するなどの全体計画が完了していないため。																		

独自提案型事業

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
1	高崎-独自-H28-1	H26	高崎市	独自提案			高崎自然歩道周辺整備事業	高崎市	総延長21.7kmの高崎自然歩道において史跡周辺を中心に刈払等による整備を行う (森林整備面積:3.00ha)	491,400	245,700	10	10	6	7	7	8	8	8	25
		成果																		
		課題																		
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、地域での継続的な管理が難しいため。																		

評価番号	事業年度	計画番号	市町村名	事業区分	事業細区分 ／細々区分	継続	事業名	事業実施者もしくは 活動団体の名称	事業概要	事業費 (円)	県補助金 (円)	I 実績		II-1 効果			II-2 効果			判定 ①+②+ ③
												補助 (自己評価)	①平均	補助 (自己評価)	地域	②平均	補助 (自己評価)	地域	③平均	
3	渋川-独自-H28-1	H26	渋川市	独自提案			竹林整備事業	渋川市	放置竹林の間伐し、地域の安全・安心に資するほか、伐採竹の利活用についての調査研究を行う(竹林整備面積:0.75ha)	4,746,600	1,012,500	9	9	6	6	6	9	9	9	24
		H27	渋川市	独自提案	独自提案事業	継続	竹林整備事業	渋川市	渋川市による安全・安心な生活環境づくりを目的とした放置竹林の整備	4,744,440	1,012,000	9	B	6	6	B	9	9	B	B
		成果																		
課題																				
B判定の理由		取り組みについては、概ね評価できる内容であったが、竹林については、まだ整備する箇所も多くあり、部分的に評価するのが難しく、また、高齢化により地域での継続的な管理が難しくなっているため。																		